

新型コロナウイルス対策（消毒）について

- ウイルスは人の手を介して汚染を広げていくため、各自の手洗い・手指消毒は感染対策の基本です。
- 多くの人が頻繁に触れる箇所を清掃・除菌し、環境を清潔に保つことも効果的です。
- コロナウイルスはエンベロープ（脂質からなる二重膜）をもつウイルスで、界面活性剤入りの洗剤、アルコール製剤、次亜塩素酸ナトリウムなどで消毒できます。

清掃・除菌する箇所



消毒の方法

共通

- スプレー等による噴霧は、ウイルスをまき散らし、吸引による健康被害もあり危険です。
- 消毒液を浸したタオル等で人がよく触れる場所を拭きましょう。
- タオルは一般的な雑巾がけと同じ程度に絞って拭きましょう。
- アルコール以外の消毒薬（漂白剤を薄めたものなど）で拭いた場合には洗剤成分や匂いが残らないように水拭きをしましょう。
- 窓やドアを開け、換気しながら実施し、終了後も1時間程度開けておきましょう。



職場

- 執務室や廊下の床や壁の消毒は不要です。

家庭

- カーテンやカーペット、布団は下痢や嘔吐で汚染されていない場合は洗わなくても大丈夫です。

消毒液の作り方

ドアノブなど身の回りの物の表面の消毒には、次亜塩素酸ナトリウムが有効です。次亜塩素酸ナトリウムを希釈して(薄めて)使用します。

市販の塩素系消毒剤の原液の濃度には、1%~12%程度のもがあります。下の表は、1リットルの水に加えて作る場合に必要な原液(5%と10%の場合)の量です。作りたい消毒液の量によって使用する原液の量が異なりますので、原液の濃度を確認してから、下記の表を参考にして消毒液を作って使用してください。なお、市販されている家庭用塩素系漂白剤の濃度は約5%です。

用途	必要な濃度 (注1)	原液の濃度	希釈倍率	1リットルの水に加えて作る場合に 必要な原液の量(注2)
嘔吐物が付着した床等の消毒	1000ppm (0.1%)	5%	50倍	20ml
		10%	100倍	10ml
ドアノブ、手すり等の消毒	500ppm (0.05%)	5%	100倍	10ml
		10%	200倍	5ml

(注1)濃度 1%=10000ppm

(注2)家庭用塩素系漂白剤のキャップの容量は通常 20ml~25ml です。容器に書いてありますので、確認して使用してください。(1リットル=1000ml(ミリリットル))

【参考】ペットボトルを使用した希釈方法

500ml のペットボトルのキャップ(ふた)は約 5ml の容量です。計量カップ等がない場合はこれを用いて希釈できます。

(例)原液が5%の消毒剤を希釈する場合

用途	必要な濃度	希釈方法
嘔吐物が付着した床等の消毒	1000ppm (0.1%)	500 ml のペットボトル 1 本の水に塩素系漂白剤を 10 ml (ペットボトルのキャップ 2 杯) 入れる。
ドアノブ、手すり等の消毒	500ppm (0.05%)	500 ml のペットボトル 1 本の水に塩素系漂白剤を 5 ml (ペットボトルのキャップ 1 杯) 入れる。

(注)消毒液の入ったペットボトルは、誤って飲むことがないように、消毒液であることをはっきりと表示してください。

※一般的に「塩素系漂白剤」(塩素濃度 約 5%) として販売されています。

※金属部位に使用した場合は、10分程度たったら水拭きしてください。

※スプレーボトルでの噴霧は、ウイルス飛散の可能性があるため好ましくありません。

※消毒対象の材質により使用方法が異なることがありますので、製品に記載された「使用上の注意」をよく読んで使用してください。

※手荒れの可能性があるため、直接触れないよう、また手指の消毒には使用しないでください。